

### 交通安全の一助に 反射たすきをいただきました



▲贈呈式の様子

4月から町内小中学校に入学する児童生徒のための反射たすきが雲南地区交通安全協会から寄贈されました。

3月23日、役場横田庁舎にて行われた贈呈式では、同協会の深田登志美事務局長から塔村教育長へ反射たすきが手渡されました。

塔村教育長は「児童生徒の交通安全のため、有効に役立たせていただきます。」とお礼の言葉を述べました。

反射たすきは各小中学校を通じて、新入生に配布されます。

### 奥出雲町商工会から感謝状が贈呈 オロチの深山きこりプロジェクト実行委員会



▲植田良二商工会長から感謝状を受け取る響実行委員長

3月27日、間伐などによる森林整備や、切り出した間伐材に1tあたり6,000円の商工会商品券を交付することで消費喚起に貢献してきた奥出雲町オロチの深山きこりプロジェクト実行委員会に、奥出雲町商工会から感謝状が贈呈されました。

感謝状を受け取った響繁則実行委員長は「関係各位の支援によりこれまでの活動を行うことができた。今後もこの活動を続けていくため、多くの方の協力や参画をお願いします」と語られました。

### 島根県ふるさと伝統工芸品 技術後継者表彰 堀江隆司(横田)さんが受賞



▲受賞された堀江さん

島根県では、暮らしの中で育まれ受け継がれてきた伝統工芸品を「島根県ふるさと伝統工芸品」に指定し、その伝統工芸品の製造に従事し、技術を継承する方を対象にした島根県ふるさと伝統工芸品技術後継者表彰を行っています。

このたび、奥出雲銘木製品の製造に従事されている堀江隆司さんが本表彰を受賞されました。堀江さんは、釘などを一切使わない木組みの卓越した技術を持ち、その技術の継承と向上に精励され、伝統工芸品の振興に寄与された功績が顕著であることが認められました。

### 平成29年度奥出雲町良質米品評会

3月12日、平成29年度奥出雲町良質米品評会の表彰式が役場仁多庁舎で行われました。今年度も多くの米生産者の皆様から米をご出品いただきました。厳正な審査の結果、次の方々が各部門で受賞されました。

今後とも、生産農家の皆様には高品質で良食味の仁多米生産に努めていただきますようお願いいたします。

#### うるち米の部(出品数54点)

- 最優秀賞 藤原 勇人さん(阿井)
- 優秀賞 稲岡 武史さん(亀嵩)
- 若月 利晴さん(阿井)
- 優良賞 坪倉 文雄さん(阿井)
- 大坂 茂さん(三沢)
- 梅木 達也さん(馬木)

#### もち米の部(出品数8点)

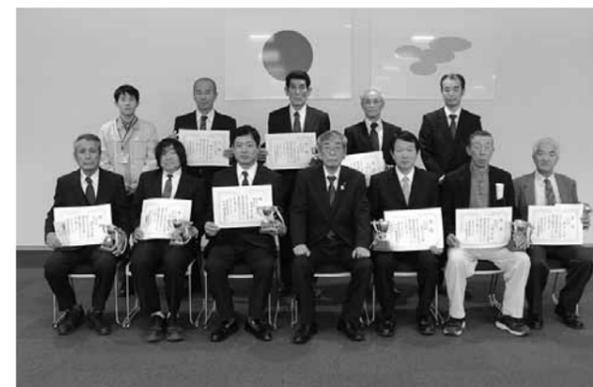
- 最優秀賞 山根 俊弘さん(亀嵩)
- 優秀賞 藤原 邦雄さん(横田)
- 優良賞 糸原 功さん(八川)
- (農)くびす (亀嵩)

#### 仁多米ブランド特別賞(荷受戸数488点)

- 最優秀賞 吉川 誉さん(横田)
- 優秀賞 菅田 孝文さん(阿井)
- 優良賞 細木 勇さん(馬木)

#### ※仁多米ブランド特別賞

仁多郡カントリーエレベーターに出荷されたコシヒカリを対象とし、審査基準は、①堆肥施用 ②食味値 ③整粒歩合 ④荷受重量の4項目を総合評価し、「売れる仁多米」として、上位3名を表彰するものです。



▲受賞された方々

#### 酒米の部(出品数4点)

- 最優秀賞 松崎 博一さん(八川)
- 優秀賞 石原 吉徳さん(八川)
- 荒川 俊晴さん(鳥上)

### 奥出雲町監査委員に谷尻一徳さんが再任

3月議会で監査委員の選任が同意され、4月1日付けで谷尻一徳さん(阿井)が再任されました。4年間よろしく願いします。



### そろばんを寄贈 ハンガリーの算数教育に役立てる



▲藤原会長から石井さんにそろばんを渡す

3月26日、役場仁多庁舎において、奥出雲町国際交流協会の藤原弘道会長から考えるSZOROBAN日本普及会の石井康雄さんに新品のそろばん50挺を寄贈しました。

藤原会長は「そろばんを通して町とハンガリーの友好がますます発展することを願います」と述べ、そろばんを手渡しました。

寄贈したそろばんは松屋算盤店から奥出雲町国際交流協会に寄附されたもので、平成26年度から考えるSZOROBAN普及会を通じてハンガリーへ50挺ずつ寄贈しています。

### 奥出雲まなぶもん学校発表報告会 12の新しい挑戦を応援



▲発表の様子

町では起業、創業、事業拡大に挑戦しやすい環境を整えることを目的とした人材育成事業として、昨年11月から地域課題解決や新たな活動の展開を支援する「奥出雲まなぶもん学校」を開催してきました。

3月24日には、実践クラスと事業クラスの12組の受講生がそれぞれの想いをカタチにした事業やプランを70人の参加者を前に発表しました。発表後には、参加者と発表者が意見交換をする場が設けられ、今後の展開について活発な話し合いが行われました。

### やま子会(三成)から図書カードの 寄附をいただきました



▲贈呈式の様子

山林資源を活用した木炭製造を行っているやま子会から町内の図書室に図書カード10万円の寄附をいただきました。

活動を始めてから10年を迎える節目に地域へ恩返しをしたいという申し出があり、4月4日、カルチャープラザ仁多図書室で贈呈式が行われ、やま子会の長谷川重夫会長と松原征洋副会長から各図書室長に図書カードが手渡されました。

新しい図書の購入のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

### 奥出雲町老人福祉計画及び 第5期奥出雲町障がい福祉計画・第1期 奥出雲町障がい児福祉計画を策定

町では、今後の高齢者福祉施策及び障がい福祉施策の方向性を示す「奥出雲町老人福祉計画」及び「第5期奥出雲町障がい福祉計画・第1期奥出雲町障がい児福祉計画」を策定しました。

奥出雲町老人福祉計画策定委員会、奥出雲町障害福祉計画策定委員会では、昨年より町長から諮問を受け、計画について審議を行ってきました。この間、町民の皆さんからは、パブリックコメントを通してご意見をいただき、検討を重ねました。

このたび、各策定委員会の答申がまとまり、平成30年3月30日に岩佐俊秀委員長、植田泰正委員長から勝田町長へそれぞれの計画書が手渡されました。



▲3月30日に両委員長から勝田町長へ計画書が手渡された

### 思い出の学び舎からの巣立ち 専門学校2校で卒業式

町内の専門学校2校の学生が夢と希望を胸に卒業式を迎えました。

3月10日にカルチャープラザ仁多で行われた島根リハビリテーション学院の卒業式では、理学療法学科22人、作業療法学科14人が卒業し、友達や先生との別れを惜しみつつ新天地へと巣立ちました。

3月23日には島根デザイン専門学校の卒業式が行われ、ビジュアルデザイン科2人、研究科2人が卒業しました。この地で過ごした日々を振り返り、感謝の気持ちを伝え、数々の作品を生み出した学舎を後にしました。



▲感謝の言葉を述べる堀川将太さん(島根リハビリテーション学院)

▲答辞を述べる春日由紀さん(島根デザイン専門学校)